

# ICT機器で学びを広げるGIGAスクール 鬼に金棒、子どもに「ICT」

市内の小中学校に高速大容量の情報通信ネットワーク環境を構築し、児童生徒に一人一台のタブレット端末を整備しました。活用が始まって1年。子ども達の学習の様子を振り返ります。



## 学び方の変化

### 自分のペースで学ぶことができます

これまでの学校での学習は、一斉に同じ問題、同じ分量の課題に取り組むことがほとんどでした。

しかし、一人一台のタブレット端末により、自分のペースで学んだり、自分の苦手な問題に繰り返し取り組んだりすることが、手軽にできるようになりました。また、インターネットを通して、疑問に思ったことをすぐに調べることができるようになりました。

こうして、主体的に学ぶことにより、学んだことの理解が深まります。



自分のペースで問題に取り組む



タブレット端末がすぐに採点してくれる



中学校とオンラインで結ぶ



絵本作家の方から絵本の作り方を学ぶ

### 人とつながって学ぶことができます

タブレット端末は、インターネットを介して、遠くの地域の人とつながることもできます。

例えば、小学校と中学校。また、教科書に載っている作家さんと教室をつなぐこともできます。日本全国どころか、外国との交流も可能になりました。

今は、コロナ禍で接触が制限される中ではあります。ありますが、さまざまな人とつながることで、学びをより深めることを可能にしてくれています。

### 協働的な学びで表現力が育まれます

一人一台のタブレット端末を持つことで、子ども達は、いつでも、気になったことを写真や動画で記録することができます。

その記録した「気になったこと」を後でじっくりと調べ、その情報を根拠に、整理・分析することもスムーズにできるようになりました。また、それを友達に伝えたり、もっと良い解決策を探ったりすることもできます。

こうして、必要な情報をもとにして自分の考えを深め、さらに、発信することで表現力が育まれます。



マット運動の様子を動画で記録



その場ですぐに動画を確認して、友達と出来栄を振り返る



昆虫の観察も写真で記録



環境問題について、グループで話し合う

## 文房具としてのタブレット端末

パソコンやスマートフォン、タブレット端末などのICT機器が普及し、社会のあらゆる場面で活用が進んでいます。

学校教育の中では、「生きる情報」を自ら選択し、活用する力を身に付けるため、タブレット端末をはじめとするICT機器を、鉛筆やノートと同じ「文房具」として位置づけ、自分の良さを発揮したり、友人と力を合わせて課題を解決したりするために活用しています。これからは、この「新たな文房具」とともに、未来を切り拓いていく力を育てていくことが求められています。



教科書の内容を深く学ぶ



タブレット端末をもとに意見交換



タブレット端末がピアノに早変わり



書評について、友人と互いに意見を述べ合う

## いろいろな場面で活用されるタブレット端末

オンラインの強みを生かして三密を回避したり、教職員の研修に使用したり、学校生活のさまざまな場面で活用が図られています。

また、情報モラル（ICT機器との付き合い方）についても学習をしています。



情報モラルの授業



オンライン授業の練習



リモートで行われた生徒会の立ち会い演説



タブレット端末に表現した一人一人の考えを電子黒板に投影

**タブレット端末を安全に活用するために**  
市で整備したタブレット端末は、常に最新の情報のフィードバックソフトが入っており、各種設定やアプリの管理など、子ども達が安全に使用するための対策が講じられています。



## Voice!



### 「セーブ・ジ・アース」

二本松第一中学校2年  
しもだ なつめ  
下田 捺芽 さん

学校へのタブレット端末導入から約1年。ICTを用いた授業も浸透し、場所を選ばずに学習できることを実感しています。

環境への配慮が求められる現代社会に合わせて、生徒会でも資料の紙配付をタブレット端末への送信に変えるなど、ペーパーレス化を進めていきたいです。



### それぞれの強みを 生かして

二本松第一中学校  
こばやし のりゆき  
小林 倫之 先生

授業の在り方が大きく変わろうと感じています。タブレット端末の可能性は無限大です。タブレット端末だからこそ実現できる学びと従来の指導法、それぞれの強みを生かしながら、子ども達に確かな力をつけさせていきたいと思います。私達も日々勉強です。